

チームエッフェガーラ

津村 知明 レースレポート

2010年5月30日

IMPカートレース第3戦

SSクラス(参加6台)

CIRCUIT : 井頭モーターパーク

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BS SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 平賀 勇輝(チーム エッフェガーラ)

月岡 雅隆(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 2位 (30.697)

予選① 3位

予選② 2位

決勝 1位

◆シリーズランキング

2位 (47ポイント)

第3戦終了時点

レース前日

前回のレースから確かな手ごたえを感じていた事、実際に前日の走行では調子も良く カートが軽く感じられた事もありいつもより気持ちに余裕を持ってレースに挑む事ができそうな感じでした。

堂々と走れたTT

走りが小さくなってしまいタイムが出せない事があるので、今日とはとにかく思い切って攻めの走りを意識しました。最終ラップ、最後に最後に遅いカートに引っぱり 結局2番手。でも1/100秒台の差だった事と「攻めの走り」ができたので満足です。

スタートはいいが 3コーナーがヘボ過ぎた！！

予選は1ヒート、2ヒート共にスタートはバッチリ決まり、1コーナーではしっかり2位のポジションをキープし序盤でトップに立つ事ができました。しかし、3コーナーがあまりにヘボ過ぎて あっさりと抜かれてしまう。1ヒート目は、川口選手、伊沢選手にも抜かれ 3番手でチェッカー。2ヒート目は、伊沢選手に抜かれて 2番手でチェッカー。予選は、3番手で決勝を迎える事になる。



撮影: MOONSPEED月岡

何度も心がグラついたけど・・・

決勝のスタートではイン側の利点を生かし1コーナーでは2番手に上がり 続く3コーナーでトップに浮上。滑り出しはまず順調に決まり、さあここからの集中力がカギを握る。毎LAPホームストレートを駆け抜ける度にタップボードを見ていたが、2位伊沢選手も全く同じタイムで自分を追っている。ちょっとでもミスすれば一気に差が詰まり抜かれるであろう緊迫したレースが続いていました。自分は3コーナーがヘボい事は分かっていたので とにかく後ろに付かれたくないと思って必死で逃げる。レースも2/3を過ぎた頃 2位伊沢選手のタイムが落ち 3位川口選手とのバトルになったようなのでこれは差を広げるチャンスだと思われたが、逆に安心感を生みミスが増えるようになってしまう。心が弱い！！何とか再び集中力を高める事ができたが、本当に危い瞬間だった。2番手は川口選手に代わり、自分よりも0.1秒早いタイムで追ってくるのでさらに緊迫したレースとなる。でも、「自分の走りができれば絶対に勝てる」と何度も言い聞かせて走ったのと、ピットではメカニックの勇輝が必死になって「落ち着け～」とサインを送り続けているので 絶対に負ける訳にはいかなかった。どうにか20周最後までトップをキープできてチェッカー。大きな1勝を勝ち取る事ができました。

レースを終えて

井頭で、ドライで、堂々と、川口選手に勝てたというのが まず嬉しかったです。今回レースを迎えるまでの間に、少し考える時間が持てたので リフレッシュした気持ちでレースに挑めたのも勝ちに繋がったと思います。あと、自分のレースのようにハラハラしました～と言ってくれた 勇輝の一言も嬉しかったです。レースはチーム一丸となって戦っているのを改めて実感できた良いレースだと思います。最後に、今回のレースに応援・声援・お手伝い・メカニック等々して下さった方々には 本当に感謝しております。これからも、楽しい見せるレースをしていきますので、応援ヨロシクお願いします！！